

平成 27 年度名古屋大学 HPC 計算科学連携研究プロジェクト成果報告会

日時： 平成 28 年 6 月 15 日(水) 13 時 30 分～18 時 30 分

場所： 名古屋大学 ES ホール

主催： 名古屋大学 情報基盤センター， 宇宙地球環境研究所

プログラム：

13:30-13:40 開会の挨拶 森 健策 (情報基盤センター・センター長)

13:40-15:00 第 1 セッション 座長：片桐 孝洋 (情報基盤センター)，荻野 正雄
・辻 義之 (名古屋大学)

「気象スケール壁乱流への凍結乱流仮説の応用と展開」

・室谷 浩平 (東京大学)

「階層分割型数値計算フレームワークの開発と実地形の津波遡上解析」

・荻野 正雄 (名古屋大学)，課題代表者：田上 大助 (九州大学)

「高精度・高性能な大規模流体構造連成問題に対する数値計算基盤の構築」

・石原 卓 (名古屋大学)

「超多自由度複雑流動現象解明のための高効率な並列計算コード開発」

15:00-15:15 休憩・ポスター発表

15:15-16:35 第 2 セッション 座長：草野 完也 (宇宙地球環境研究所)，梅田 隆行

・渡邊 威 (名古屋工業大学)

「相互作用する粒子系の乱流輸送に関する大規模シミュレーション」

・柴山 拓也 (名古屋大学)

「電磁流体力学的エネルギー緩和現象のシミュレーション研究」

・渡邊 智彦 (名古屋大学)

「磁化プラズマにおけるドリフト波およびアルヴェン波不安定性の数値シミュレーション」

・平井 研一郎 (東北大学大学院)，課題代表者：加藤 雄人 (東北大学)

「変動惑星圏シミュレーション」

16:35-16:50 休憩・ポスター発表

16:50-17:50 第3セッション 座長：坪木 和久（宇宙地球環境研究所），大東 忠保

・三宅 洋平（神戸大学）

「超並列粒子コードを用いたジオ・スペースプラズマ理工学シミュレーション」

・藤本 桂三（国立天文台）

「惑星磁気圏のグローバル粒子シミュレーション」

・三浦 英昭（核融合科学研究所）

「拡張電磁流体モデルによる乱流数値シミュレーション」

17:50-18:20 全体討論

18:20-18:30 閉会の挨拶

ポスター発表

・相馬 一義（山梨大学）

「雲解像モデルを用いたアジア・メガシティの都市気象シミュレーション」

・岩野 耕治（名古屋大学）

「空間発展する乱流/非乱流共存場における複雑輸送現象の大規模シミュレーション」

・木村 芳文（名古屋大学）

「安定成層乱流の2次元性/3次元性とエネルギー輸送」

※ 各自の発表時間は質疑応答時間を含めて20分です。

※ 成果発表会終了後（19時～21時ごろ）に名城線本山駅近くで懇親会を予定しています。